



2022年1月14日

各 位

会社名 クロスプラス株式会社
代表者 代表取締役社長 山本 大寛
(コード番号 3320 東証・名証第二部)
問合せ先 常務取締役 西垣 正孝
(TEL 052-532-2211)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2021年9月3日に公表いたしました2022年1月期の通期連結業績予想を修正しましたので、お知らせいたします。

また、2021年3月12日に公表いたしました配当予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想の修正について

- (1) 2022年1月期 通期連結業績予想数値の修正
(2021年2月1日～2022年1月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	60,000	600	800	700	95.45円
今回修正予想(B)	59,000	△1,600	△1,300	△1,650	△225.00円
増減額(B-A)	△1,000	△2,200	△2,100	△2,350	—
増減率(%)	△1.7	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2021年1月期)	64,002	2,148	2,530	2,001	272.97円

(2) 修正の理由

通期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスのワクチン接種は進んでいるものの、ブレークスルー感染の増加や、変異株による第6波も懸念され、本格的な消費動向の回復は見通しづらい状況です。

売上高は、アパレル小売において店舗販売に回復がみられるものの、アパレル卸売において海外生産国での新型コロナウイルス感染症拡大による生産遅延の影響や海上輸送の遅れに伴い、秋冬物の短納期生産の販売が減少しました。また、ファッションマスク等の非衣料品販売が、政府や自治体からの不織布マスクの推奨の影響も受けて想定を下回り、2021年9月3日の発表予想から1,000百万円減少する見込みとなりました。

利益面では、上記売上高の減収要因の他、原材料費の高騰や海上運賃の値上げ、アセアンから中国へ生産国を変更したこと等により仕入原価が上昇し、売上総利益率が低下したこ

と等により、営業利益において700百万円減少の影響を受けることとなりました。加えて、非衣料品において、想定していた販売計画を下回っている棚卸資産のうち、正常な営業循環を逸脱するものと判断された対象の棚卸資産を1,500百万円程度評価減することとなりました。その結果、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益に関してもそれぞれ計画を下回る見込みとなりました。

2. 配当予想の修正について

(1) 修正の内容

	年間配当金(円)		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2021年3月12日発表)	15.00	15.00	30.00
今回修正予想	—	9.00	24.00
当期実績	15.00	—	—
(ご参考) 前期実績 (2021年1月期)	6.00	18.00	24.00

(2) 修正の理由

当社は、株主に対する利益還元を重要な経営政策の一つとして位置づけ、今後の事業展開及び財務体質の強化に必要な内部留保を確保しつつ、安定的な配当の継続を基本方針としております。

当期の配当金につきましては、本日発表しました業績予想の修正を踏まえ、利益が予想を下回る見込みとなりましたので、2021年3月12日に公表しました1株当たりの期末配当予想を6円減の9円へ修正することといたします。これにより年間配当予想は前期実績と同額の1株当たり24円となります。

※上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績については、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上